

# 心豊かな世代が育つ

## 童話の里づくり 417

—シリーズ— あなたの人權・わたしの人權

### 「伝えること」の大切さ

塚脇小学校 6年

加藤 愛菜

私の友だちは、すごく優しくて接しやすく明るい人がとても多いです。もちろん仲良く話していることもあれば、考えがちがうことがあり、ちよつとしたケンカをしていることもあります。それでも、ちゃんとおたがいの気持ちを考えて伝えることで仲直りできるのです、とてもすてきな友だちだと思います。

そんな中、あらためて「伝えること」の大切さを感じる出来事がありました。

同じクラスのAくんのことです。Aくんは、おとなしい人で友だちやクラスの人と遊ぶことが少ないような気がしていました。昨年もあり

笑顔を見たことはありませんでした。六年生で同じクラスになつてからも他の男子とも話しておらず、朝も静かに教室に入ってくるような様子でした。

そんな様子を見て、私は小学校最後の一年だから、もつと友だちと関わり合つて思い出を作つてくれたらいいなと思つていました。

ある時、Aくんと私の友だちのBくんが一緒に話しているのを目にしました。

それで、Aくんに少し話しかけてみようかなと思いましたが、話しかけにくく、Bくんの方にいつものセッションで声をかけてみました。

そうやって話していると、Aくんもだんだん話し始めてくれました。そうすると、おたがいの好きなゲームのジャンルが似ていると知り、楽しくなりました。

Aくんの性格も少しずつ知れてうれしかったです。

それからAくんに声をかけたりあいさつをしたりするようになりました。

Aくんもゆつくりクラスの人と関わる姿が増えてきました。

昼休みに友だちとふざけ合つたり冗談を言い合つたりして、笑顔をよく見るようになりました。

ちよつとした気持ちを「伝えること」がきっかけで、友だちの輪を広げることができるんだなと思ひました。

いつもよく話し仲の良い友だちも、あまり一緒にいないクラスの人も、声をかけてみることで、相手の気持ちと考えられるようになって、とてもよかつたと思います。

これから中学校に行つて、たくさん友だちに出会ふと思います。小さなことだけど、まずは声かけやあいさつをして、たくさんの人とつながっていききたいです。

\*学校名・学年は、寄稿当時のものです。

今、学校教育では、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立つた授業改善が求められています。

しかし、そんな授業が可能となる前提条件、「自分の思いを安心して話すことができる集団、また、その思いを受け止めてくれる集団」づくりは、愛菜さんの言われるように「まずは声をかける」ことから始まるものですね。

この人權作文について、意見や感想、激励など、お寄せください。また、みなさんの投稿もお待ちしております。

わたしたちをとりまく様々な不合理や差別性について気づいたことや感じたことを、二〇〇字程度にまとめて、住所、氏名、連絡先電話番号を記入して(匿名可)、玖珠町教育委員会 社会教育課「あなたの人権」までお届ください。

